



2019 **1/17**
18:30~20:30

場所 **SENQ霞ヶ関**

東京都千代田区霞が関一丁目4番1号
日土地ビル2F

【最寄り駅】

- ◆東京メトロ 銀座線
虎ノ門駅7番出口 徒歩1分
- ◆東京メトロ 千代田線・日比谷線・丸ノ内線
霞ヶ関駅 A12番出口 徒歩3分

参加申込

下記URLよりお申し込みください。
<https://goo.gl/8GXjy5>



震災から8年、 被災地コミュニティの新たな課題

関連地域

東北全域

災害公営住宅の現状と課題から
コミュニティ作りのアイデアを考えよう

◆参加費 無料

◆定員 30名

◆主催 復興庁

「Fw:東北」は「進む」の意味を「フォワード」に置き換えた東北における共創によるプロジェクト全体の愛称です。被災地復興及び地域課題の解決に取り組んでいるNPO、企業、自治体等が、自らの取組を加速・発展させるため、共創の手法を通じて、新たなパートナーとのつながりを創出し、地域社会の課題解決を目指していきます。

「Fw:東北Weekly」では、復興庁、「新しい東北」官民連携推進協議会による、「Fw:東北」の取組み、プロジェクトをご紹介します。東北で様々なテーマを掲げて行われている活動や、それらに取り組む人々にフォーカスを当て、認知向上や共創の輪を広げる活動として、各種イベントを、東京や東北各地で多数展開(年間30本程度を予定)します。

震災から8年、被災地コミュニティの新たな課題 災害公営住宅の現状と課題からコミュニティ作りのアイデアを考えよう

関連地域：東北全域

日時 2019.1.17(木) 18:30～20:30 (開場 18:00) 場所 SENQ霞ヶ関

企画趣旨

「災害公営住宅」をご存知ですか?災害公営住宅とは、災害により住宅を失って自ら住宅を確保することが困難な方々に安定した生活を確保して頂くために、地方公共団体が国の助成を受けて整備する住宅のことです。

東日本大震災の被災者向けに供給された災害公営住宅は、全国で約3万戸にのぼります。数年前に公営へ転居され、新しい住まいでの生活も落ち着いてきた方々だけでなく、ようやく転居の見通しがつき、仮設住宅での長い暮らしを終えてこれから公営住宅へ移られる方もいらっしゃいます。

災害公営住宅は阪神・淡路大震災や新潟中越地震でも提供されましたが、東北の場合はもともと持ち家だった方が多く集合住宅での生活が初めての方が少なくないこと、また、高齢化や人口減少が大きく進行する中でコミュニティを形成しなければならないことなど、これまでとは異なる配慮が必要となってきています。

ゲストの新井信幸氏、鈴木祐司氏からお話をうかがい、「災害公営住宅」の現状や課題を知り、これからの暮らしを支えるコミュニティをどのようにつくっていけばよいか、アイデアをだしながらみなさんと一緒に考えていきます。

登壇者

※順不同/敬称略

◆ 新井 信幸 (東北工業大学工学部建築学科准教授)

1972年生まれ。川崎市出身。千葉大学博士課程修了。財)ハウジングアンドコミュニティ財団・研究員を経て2009年4月から現職。NPO法人つながりデザインセンターあすと長町副代表理事。専門:建築計画、住まいまちづくり

◆ 鈴木 祐司 (地域創造基金さなぶり専務理事)

東日本大震災後、仙台を拠点に資金仲介を営む財団の設立に従事し、NPO支援と創業支援事業に約17億円の資金を調達・支援を実施する。NPOや地縁組織への資金支援や運営支援等を通じて、復興の推進と持続可能な地域づくりを目指す。

プログラム (予定)

18:00 開場

18:30 開会

- ・開会メッセージ
- ・趣旨説明

インプットトーク①

「災害公営住宅でのコミュニティの現状」
東北工業大学工学部建築学科准教授 新井 信幸 氏

インプットトーク②

「災害公営住宅への外部からの支援について」
地域創造基金さなぶり専務理事 鈴木 祐司 氏

アイデアソン

「暮らしを支えるコミュニティをつくるアイデアソン」
ファシリテーター:ダイバーシティ研究所代表理事 田村 太郎 氏
・閉会メッセージ

20:30 閉会

参加対象者

- ・災害公営住宅のコミュニティの現状に関心のある方等
- ・東北でのつながり、支えあえる地域づくりに関心のある方等
- ・超高齢社会・人口減少社会の住まいと暮らし方に関心のある方等
- ・ご近所づくりの仕掛けやコミュニティ支援に関心のある方等
- ・その他、本イベントに関心のある方等

主催：復興庁 / 企画運営：NEC ソリューションイノベータ株式会社 (受託事業者)

「Fw:東北 フォワード東北」フェイスブックページ <https://www.facebook.com/fwtohoku/>

【注意事項】 ※会場への直接のお問い合わせはご遠慮下さい。